

Y 吉武地区コミュニティ

まだまだあった、奥の深い吉武の歴史にふれよう!!

宗像市の最東端にあり、宗像有数の穀倉地帯です。歴史的には、縄文晩期から人々はこの地に、家族や集落をつくり自然災害に立ち向かいながら農耕をし、時代の権力に支配されながらも日常生活を営み、現在へ至ります。その歴史の中でも今回は、室町時代から江戸時代末の人々の暮らしを垣間見ながら、ウォーキングを楽しみませんか？

水神様

「水速女神(みずはやひめのかみ)」は街道を行く人や地域の水飲み場に祀られている神様です。この水神社は、唐津街道中筋往還(参勤交代)の側にあります。江戸になってからは井戸掘りが一般化しました。家庭の担い手の女性たちが集まる場所でもあったことから、井戸神はこどもを育てる母神とも考えられるようになりました。



ご飯・納豆・豚汁
1人分
約560kcal

パン工房 ハイジの
ハイジパン 2個・
目玉焼き・野菜サラダ・牛乳
約550kcal
1個118kcal

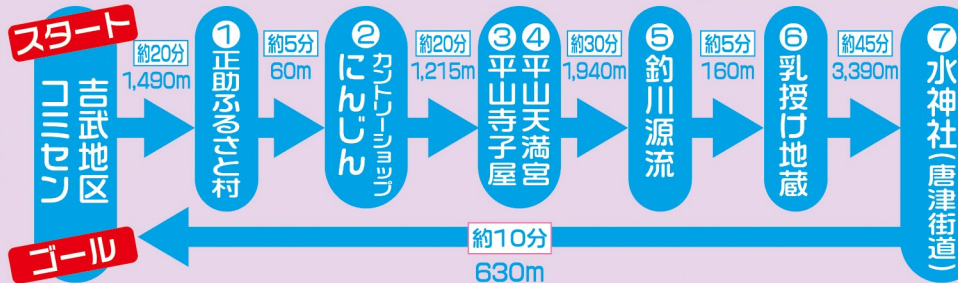
平山寺の寺子屋

江戸時代末、鎮国寺の名僧佐伯鳩窓により平山寺(薬師寺)に寺小屋を開き、読書、算盤、仏教、道徳などの教育を行われました。江戸時代、宗像にも寺小屋ができたが、『平山大師堂』はそのうちの一軒。



江戸時代の読み書き算盤の寺小屋から宗像家お家騒動の菊姫をたどるコース

TOTAL 総距離 8,885m 総時間 135分 消費エネルギー 555kcal



乳授け地蔵

宗像氏貞(幼名:鍋寿丸)擁立をめぐる、宗像のお家騒動のとき、菊姫の乳母は山田の里の館を抜け出して郷里である鞍手郡山口村に逃れていく途中、この峠で追っ手の為に殺されたと伝えられています。



平山天満宮

釣川の最上流にあたる吉留字水上に鎮座。吉留一円の鎮守社でした。宗像最初の天神さまで毎年宗像家から大宮司が幣帛(へいはく)をもって参拝されたと伝えられています。本殿に登る途中に、宗像の天然記念物大楠の一つが、大きく構えています。

